

令和3年度 市民提案事業 活動報告書

市民との協働によるまちづくり提案事業



令和4年6月
(八女市役所 企画政策課)

令和3年度市民との協働によるまちづくり提案事業採択団体

	団体名	活動の名称	活動の概要	ページ
1	NPO法人がんばりよるよ星野村	竹林整備と竹資源の活用	放棄竹林を整備し、竹をパウダー化し、肥料として近隣農家に配布したり、発酵肥料を作製する。また、竹皮編みの創作ワークショップを開催し、資源の再発掘を行う。	1
2	ひまわりの会 八女・筑後	ひまわりの会 八女・筑後	不登校の若者や不登校の子を持つ保護者を集めた座談会を開き、情報共有を図る。 また、有識者を招いた講演会を開催する。	11
3	星野未来塾	星野村で星のソムリエっ子を育てよう	法政大学と星の文化館の協力のもと、18歳以下の学生を対象とした「星のソムリエっ子（星空案内人）」の資格制度を確立する。 その後、学生を対象とした資格取得のための講座を実施する。	27
4	Light Up Show 実行委員会	燈 TOMOSHIBI【第3宴】	異業種で協力して、光と音の演出を取り入れた祭りを開催し、八女のPRや地域活性化、文化の交流を図る。	37
5	おちゃねこ八女	幸せねこプロジェクト	不幸な命を増やさないために、飼い主のいない猫たちを保護し、避妊去勢手術を行い、譲渡可能な猫の里親を探す。 また、正しい飼育方法等の啓発活動やチャリティーイベントを行う。	42
6	ミニバラ八女津媛の会	ミニバラ八女津姫を広めるプロジェクト	ミニバラ「八女津姫」を市内の各所に植栽して広める。また、八女農業高校にミニバラの繁殖を依頼し、植栽ボランティアや市民へ配布し、ミニバラ「八女津姫」へ興味を持ってもらう。	57
7	資源を活かして原料から作ってみる会	八女の土で器を作って楽しもう	八女産の材料を用いて楽焼で作製する茶碗づくりを一から体験できるプログラムを開催する。また、お茶会にて参加者自身が作製した茶碗を実際に使ってみることで、参加者に器を楽しんでもらう。	73
8	八女徐福会	舞台から八女の徐福文化を発信するー徐福八女長寿茶山踊りと商品開発ー	シンポジウムなどの日中韓の交流事業に加え、八女徐福の関連商品開発や茶山踊りをとおして、徐福文化の普及活動を行う。	83

竹林整備と竹資源の活用

NPO法人がんばりよるよ星野村

1. 団体紹介 NPO法人がんばりよるよ星野村

設立目的

◆ 2012年7月14日 九州北部豪雨で星野村の災害復旧ボランティアセンターとして法人化

- ・ 自然災害や復旧ボランティア活動
- ・ 星野村の自然や里山の再生
- ・ 市民、団体間の連絡ネットワークを構築し都市農村交流
- ・ 多様な人々が参加できる環境を保全
- ・ 未来に向けた星野村の復興、活性化を推進

◆ 設立 2014年2月10日

◆ 会員数(2022年3月現在) 正会員 31名 賛助会員 19名



1. 団体紹介 活動実績

◆ 災害復旧

- 2012年九州北部豪雨で被災した星野村の災害復旧活動を継続しながら、近隣で毎年発生する自然災害の特に農地、農業施設被害の災害復旧活動。
- 家屋の復旧活動、避難所への支援物資供給。
- 星野村の棚田百選「広内・上原の棚田」の復旧活動。



◆ 星野村まちづくり活動

- ボストン室内管弦楽団誘致
- 世界の絵画展誘致
 - 星野未来塾開始
- 耕作放棄林・地の再利用（山、竹林、田畑、自然公園）
- 空き家対策「来ん・去る事業」 移住体験交流施設《ていちゃんげ》運営
- 八女市地域学校事業

2. 竹林整備と竹資源の活用 活動内容

◆ 竹林整備活動

- 5月から令和4年11月まで竹林整備 10回 延べ参加者数 120名
- ・久留米大学 久留米・筑後体験演習授業



2. 竹林整備と竹資源の活用 活動内容

◆ 竹林整備活動

➤ 竹林アドバイザー野中重人氏を招請して竹の講演会と整備指導

1. 皮白竹の講演会



2. 竹林整備指導



2. 竹林整備と竹資源の活用 活動内容

◆ 竹林整備活動

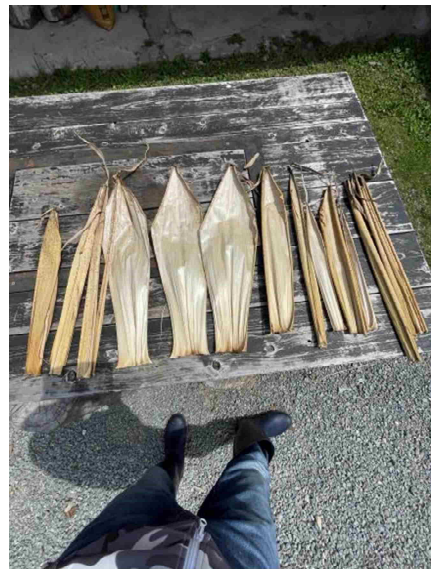
➤ 間伐竹をパウダーにして堆肥、生ごみ処理酵素作り



2. 竹林整備と竹資源の活用 活動内容

◆ 実施活動

- 11月 群馬県伝統工芸師前島美江氏を招請して竹皮編みワークショップ°



3. 活動の成果

- ・ 竹林整備することで、地元の竹林整備の要請が出てきた。
- ・ 竹林アドバイザーの野中重人氏の講演会を開催したことで、参加者の竹林整備への関心が高まった。
- ・ 竹皮編みワークショップを続けている事で、竹皮の利用業者から供給依頼あり。
- ・ パウダーを肥料として利用したい方が出てきた。
- ・ 八女市役所から生ごみ処理機「くうたくん」の竹酵素の供給依頼が来た。

4. 活動の課題

- 毎年整備を続ける必要があり、整備場所を広げる事が困難。
- 竹皮採集の期間が限られるため、人員確保のタイミングをあわせるのが困難。
- 星野村の竹林は真竹が多く、筍や竹の需要がほとんどない。
- 資源の利活用をしてビジネス化するには収入が少ない。
- 防災や景観保全の目的だけでは地元の人に関心が得られない。
- 竹皮編みワークショップを毎年続けるために群馬県から講師を招請する費用の確保。

5. 今後に向けて

◆ 竹林整備

- ・ 放棄竹林による災害、獣害、景観の荒廃などを周知していきたい。
- ・ 伐採竹のパウダーの利用。

◆ 竹皮編みワークショップ

- ・ 皮白竹の竹皮の希少性を訴え続ける。
- ・ 包装分野への利用も広げていきたい。



- ◆ 地元の竹林整備への足掛かりを広げていく。

みんなちがって みんないい

～ひまわりの会 八女・筑後～

1. 団体について

○設立目的

学び方、育ち方は色々あっていい。学校を選ばない子ども達の基本的理解をはじめ、地域住民や他地域と連携や交流をしながら、活動を通じて心豊かに暮らせる社会を目指します。

○団体構成員：19人 サポーター：3人

○設立年月日 2019年11月



シンボルマーク

1. 団体について

○これまでの活動実績

- ・令和2年度活動

座談会2回、講演会2回、「全日制じゃない高校」説明会&相談会1回、講和1回、ライブ1回

- ・令和3年度活動

通信制高校見学会2回、座談会1回、講演会1回、オンライン講座1回



2. 活動内容

開催日	形態	場所	参加費	内容
10月3日（日）	座談会	お り な す 八女	0円	# 不登校は不幸じゃないin八女・筑後 不登校や行滞り経験者から子ども視点の話を聞きます。
8月29日（日）	見学		0円	「全日制じゃない高校」見学会 精華学園高等学校・KTCおおぞら 高等学校・
11月9日（火）	見学			「全日制じゃない高校」見学会 柳川高校
12月11日（土）	座談会	八 女 文 化 会館	0円	～いろんな親の会とネットワークを作ろう～ 南筑後地域 親の会交流会
1月23日（日）	講演会	お り な す 八女	500 円	吉村春生先生講演会 「子どもの育ちからみた子どもの理解～安心感と自立～」
2月11（金・祝）	講座	お り な す 八女		～子どものことは子どもに聞こう～ 子どもアドボカシー出前講座 （こどもNPOセンター福岡）

2. 活動内容

○通信制高校見学会（8/29）

- ・ KTC学園おおぞら高等学院
久留米キャンパス（通信制サポート校）
- ・ 精華学園高等学校久留米校（通信制分校）

参加者：保護者と子ども達 約20名

従事者： 2名



2. 活動内容

○高校見学会（11/9）

- ・柳川高等学校（全通併修）

参加者：保護者と子ども、
スクールソーシャルワーカー 計13人
従事者：2人



2. 活動内容

○座談会（10/3）

#不登校は不幸じゃないin八女・筑後

不登校経験のある10代から20代のゲスト5人に、
経験を話していただきました。

別室で、子どもケアルームを準備。

サポーターや、小さい子のお世話が好きな中学生が
子どもたちと遊んでくれました。

参加者：保護者と子ども、支援者 約40人

従事者：約8人



2. 活動内容

○親の会交流会

官民学が参加！

- ・他地域の親の会主催者を招いて相互交流を行いました。
大木町のさなぎの会、不登校支援オフィスここるーむ（福岡市）
ダンデライオン（久留米）。スクールソーシャルワーカーや、
大木町教育長もイベントに参加しており、官民学の関係者で
実り多い意見交換ができました。

参加者：親の会主催者など11人

従事者：4人



2. 活動内容

○講演会 (1/23)

講師：吉村春生氏

講演タイトル：

心の育ちからみた子どもの理解
ー“安心感”と自立ー

参加者：保護者や子ども、支援者
約40人

従事者：5人



コロナ感染予防のため、
会場参加とオンライン参
加どちらも可能な、ハイ
ブリッド型にしました。



2. 活動内容

○オンライン講座

- ・ こどもNPOセンター福岡の子どもアドボカシー出前講座。コロナ感染予防のため、オンラインで開催しました。

参加者：保護者や支援者 約25人
従事者：3人

アドボカシーを習得し、つながり役を担う。広がる 子どもの権利シニアプロジェクト

2月11日（金・祝）13:30～15:30

子どもアドボカシー出前講座

～子どものことは子どもに聴こう～

わが子が不登校になると、自分や周囲の価値観が邪魔をして「子どもの声を素直に聴く」ことが難しくなったりしていませんか？子どもには、自分の思いや、どういう生活を送りたいかについて、声を聴いてもらう権利があります。

子どもアドボカシーとは、「子どもの声を聴く」こと。子どもが自らの考えを整理することや意見表明を支援することをいい、子ども自身の力を引き出せるようにお手伝いするものです。

ちょっとした技術を知るだけで、子どもとの付き合い方がグッと楽になります。子どもへの声かけや話の聴き方など、スモールステップですぐに行動できる、実践的な講座です。

会場は、
子どもの声をきいたら言うとおりにしないといけないの？
感情的になってつい怒ってしまいます
など

場所：おりなす八女 交流室A

○ 講師：特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡 代表：重永侑紀
○ 参加費：無料
○ お申込み：席数に限りがございますので、表面の申込み先に「2月11日」と記載の上、ご連絡ください。

3. 活動の成果

- ・ 座談会や講演会を通じて、不登校への理解が深まり、保護者の気持ちの整理につながる効果があった。

座談会「#不登校は不幸じゃないin八女・筑後」 参加した方からの声（一部）

「経験者の話が聞けて良かったです。心が少し軽くなりました（保護者）」

「ゲストの話に、それぞれ人生の重さを感じることができました。壮絶な日々をよくぞくぐり抜けてきたと思いました（教育関係者）」

講演会「～心がかぜをひくとき-“安心感”と自立-～」参加した方からの声（一部）

「今、自分が知りたいこと、すぐに実践できる具体的なことがよくわかりました。家庭でも職場でも今日から実践したいという意欲、目標が沸き上がる講演会でした。皆にも伝えたい内容でした（福祉関係者）」

「臨床心理士の後援を聴くのは初めてでしたが、不登校の孫を持つ祖父としてもとても安心しました（保護者）」

「お話の中での同内容で悩んでいたこともあったので、もう少し早い段階（入学当初）で聞けたらよかったと思いました（保護者）」

3. 活動の成果

「子どもアドボカシー出前講座」参加した方からの声（一部）

「子どもの権利ということを今まで考えたことがなかったので、とても興味深かったです（保護者）」

「大人が良かれと思ってしていることが、みんなそれぞれ違っていて、そこには子どもの声が入っていない。。。ということ。本当に手助けするのなら子どもの声を聴くことなしにはできないということがよくわかりました（保護者）」

3. 活動の成果

・事業についてのチラシを1回、八女市、広川町、筑後市の公立の全小中学生、南筑後管内の適応指導教室などに配布した。会の考え方や存在についての周知につながった。

令和3年度 八女市・広川町・筑後市と南筑後管内の公立小中学校

子育て自分育での応援団！
ひまわりの会
八女・筑後

2022年1月23日(日) 13:30～15:30

会場参加とオンライン参加をお選びいただけます！

講師 吉村 春生 先生 -臨床心理士-
氏名 吉村 春生
・西九州大学非常勤講師(「教育相談-カウンセリング」を担当)
・佐賀大学教育学部小学校教員養成課程(教育心理選修)卒業
・西九州大学大学院修士課程健康福祉学専攻(臨床心理コース)修了
・学校カウンセリング(学校臨床心理学)

主な研究分野 臨床心理、児童心理、発達障害
・「学級における心理的・身体的安全空間づくりが児童のメンタルヘルスに及ぼす影響について」
・「心がかわくとき-“安心感”と自立-」
・「心の育ちからみた子どもの理解」
・「心の健康を育む栄養素とは？」

愛称はブロッコリー先生！子ども達の方について優しく話してくださいませ！

日時 : 2022年1月23日(日) 13:30 ~ 15:30
場所 : おおなす八女 小ホール (福岡県八女市本町602-1)
参加費 : 500円 (18才以下、学生無料)

申込み先 : 【電話】 090-9380-3875 (国武)
【FAX】 0643-27-8434 (ちんご地蔵コースサポート内)
【Eメール】 0643-27-8434 (ちんご地蔵コースサポート内)
【QRコード】 (QRコードが読み取れない場合は、お電話またはFAXにてお問い合わせください)

主催 ひまわりの会 八女・筑後
後援 八女市、広川町、筑後市、南筑後管内の公立小中学校、八女市、広川町、筑後市、南筑後管内の公立小中学校、八女市、広川町、筑後市、南筑後管内の公立小中学校

2月11日(金・祝) 13:30～15:30
子どもアドボカシー出前講座

～子どものことは子どもに聴こう～ 場所: おおなす八女 交流室A

わが子が不登校になると、自分や周囲の価値観が邪魔をして「子どもの声を素直に聴く」ことが難しくなったりしていませんか？
子どもには、自分の思いや、どういった生活を送りたいかについて、声を聴いてもらう権利があります。

子どもアドボカシーとは、「子どもの声を聴く」こと。
子どもが自らの考えを整理することや意見表明を支援することをいい、子ども自身の力を引き出せるようお手伝いするものです。

ちょっとした技術を知るだけで、子どもとの付き合い方がグッと楽になります。
子どもへの声かけや話の聴き方など、スモールステップですぐに行動できる、実践的な講座です。

○講師 : 特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡 代表: 重永梅紀
○参加費 : 無料
○お申込み: 席数に限りがございますので、表面の申込み先に「2月11日」と記載の上、ご連絡ください。

「ひまわりの会八女・筑後」定例会のお知らせ

第2金曜日	19:00～21:00	ちんご地蔵コースサポート	無料	会のメンバーや毎月行う定例会です。お気軽にご参加ください。詳しくは公式サイトにてご確認ください。
第4土曜日	14:00～16:00	八女市内 豊町公民館3階		

※日時や開催場所など、状況によって変更する場合があります。参加の際は必ず「ひまわりの会八女・筑後」公式サイトやチラシをご確認ください。

「ひまわりの会八女・筑後」は子育て・自分育での応援団！

「不登校」経験者や当事者、生きづらさを感じる子の保護者や支援者の集まりです。
残念ながら、「不登校」として本人の助けや目先の問題行動のみに感じている方はまだまだ多いと思います。

①私達は学校にいかないことを問題視しているのではなく、それを受け止め、子どもが居ることは何となく安心しています。

②当事者の子どもたちを尊重し、子どもが居ることを大切にしたいと思っています。

③親や支援者が「不登校」についての理解を深め、支え合い、経験を共有したいと思っています。そして、色々な悩みや生きづらさが集まることで社会を分かち合います。

八女市より会場の皆様へお願いです

新型コロナウイルス対策として下記項目のご理解と協力をお願いします

- マスクを着用し、会場内での会話をお願いします。
- 会場内での飲食はご遠慮ください。
- 会場内での移動は、必ず手洗いや消毒をお願いします。
- 会場内での移動は、必ず手洗いや消毒をお願いします。
- 会場内での移動は、必ず手洗いや消毒をお願いします。

「ひまわりの会 八女・筑後」公式サイト
http://himagari-kai.org/

3. 活動の成果

- ひまわりの会 八女・筑後のパンフレットを、八女市、広川町、筑後市の小中学校、筑後地域内の高校、民生委員会、他地域の親の会、筑後地域の適応指導教室、通信制高校などに配布した。筑後地域内の相談先や、子どもの居場所について知ってもらうことができた。

残部が少なくなったので追加で印刷を行った。



3. 活動の成果

- コロナ感染予防のため、「全日制じゃない高校」説明会の開催は断念。高校見学会のみ実施した。見学会も、二つに分かれて会場に行くなど密にならないよう工夫した。開催後、見学した通信制高校に進学した子も複数おり、非常に有意義な取り組みだった。
- コロナ感染予防のため、会場に来なくてもオンラインで参加できるハイブリッド型の座談会、講演会などを3回実施した。
- 活動を通じて、不登校経験のある当事者とのつながりが作れた。
- 「親の会交流会」では、他の親の会との交流が深まった。参加した親の会は、大木町のさなぎの会、不登校支援オフィスここるーむ（福岡市）、ダンデライオン（久留米）。スクールソーシャルワーカーや、大木町教育長もイベントに参加。今後の、教育行政との連携につながった。

4. 今後にむけて

- ・他地域の不登校支援策を学び、親の会やフリースクール、各自治体のスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、学校の特別支援コーディネーター、養護教諭、医師、発達障害者支援センター、高校、サポート校などと広く連携を築きながら八女を中心とする広域的な地域に、保護者支援のプラットフォームを作っていく。
- ・1年目の活動を通じて、悩んでいる保護者の声を「聞く場」の必要性を感じた。月1回行ってきた定例会を、令和4年は月2回に増やす。
- ・「全日制じゃない高校」相談会を、市との共催事業に発展させて実施したい。

星野村で星のソムリエっ子（仮称） を育てよう

☆星のアストロスクールに決定



星野未来塾

1. 団体紹介 星野未来塾

◆ 設立目的

村民自らが地域資源を掘り起こし、都市部から地方へ新しい流れを作り、2030年に、星がいっぱいの村に2500人の村民と関係者が集い、子や孫の時代まで明るい未来のある星野村を残すために持続可能な星野村を作りあげることが目的とする。

◆ 設立 2018年11月

◆ 会員資格 特にありません



1. 団体紹介 活動実績

◆2018年10月から毎月1回「星野未来塾」を開催

- 2018年11月~2月 : 星野村の課題の抽出と理解
- 3月、4月 : 優先課題の絞込みと掘下げ
- 5月 : 2030年の星野村の未来像を21項目にまとめる
: SDGsの取組み開始
- 6月~9月 : 21項目の未来像を実現するための施策を52項目にまとめる。
- 10月、11月 : できる施策から行動開始
 - ねぎだれ美化運動
 - 広内の棚田の毎月第3日曜日に「棚田クリーン大作戦」草刈り
 - 法政大学学際宇宙ゼミとの協働・星の文化館の活用・星のアストロスクール(研究員駐在)
 - 空き家対策・空家バンクへの登録・移住希望者とのマッチング・家財片付けWS
 - 子供教育支援・星野川の水質、いきもの調査・田植え体験
 - 毎月「星野未来塾通信」の発行と村内回覧 他

2. 星のソムリエッ子 活動内容

◆ 目的

- 星野村の未来を担う創造性にあふれ地域を愛する人材を地域ぐるみで育てる。
- 魅力ある星野小・中学校を目指す。

◆ 活動

- 法政大学学際宇宙ゼミとの協働 活動（研究員駐在）
- 2021年5月、6月 星野小学校で授業 天体について、手作り望遠鏡、望遠鏡の仕組み
- 7月 星のソムリエ機構とのオンライン会
- 11月 星野小学校、中学校と来期の授業の打合せ
- 授業内容の制作

2. 星のソムリエツ子 活動内容

◆ 星の文化館 星野小学校へ出前授業

- 星座、星の見分け方などの授業



2. 星のソムリエッ子 活動内容

◆ 法政大学学際宇宙ゼミ 増尾研究生 望遠鏡の構造の勉強



2. 星のソムリエッ子 活動内容

◆ 法政大学学際宇宙ゼミ・星の文化館協働 手作り望遠鏡製作



3. 活動の成果

- 令和3年度は星野小学校の総合学習の時間帯に天体についてや、望遠鏡の手作りなどを実施して、天体に興味をもってもらえた。
- 小学校の先生に当事業の内容のご理解を得ることができ、5, 6年生を対象に来年の授業枠の確保をすることができた。
- 中学校の先生にご理解いただき、来年度、全校生徒に向けて総合学習の中で天体授業をすることになった。
- 法政大学学際宇宙ゼミの学院生が2年間星野村に駐在して、星の文化館と協働でオリジナルのカリキュラムの制作をしている。

4. 活動の課題

- 法政大学学際宇宙ゼミとの協働の継続。
- 法政大学学際宇宙ゼミの「空き家天文台」構想の空き家の確保。
- 星の文化館で継続するためのスタッフの確保。
- 手作り望遠鏡の購入資金の確保。
- 子供たちが頻繁に星の文化館に来てくれる環境づくり。

5. 今後に向けて

- 法政大学学際宇宙ゼミの「空き家天文台」の実現。
- 学校だけでなく、星の文化館をベースにした子供たちが気軽に天文に触れ交流できる場所。
- 星野村の学校だけのオリジナルの授業として村外にもPRしていく。
- 星野村の子供が故郷に誇りを持てるような教育を目指す。

ともひび 燈 TM

-TOMOSHIBI-

Light Up Show 実行委員会

設立年月日	令和元年 8月29日
設立目的	地域活性化活動(活力の燈として繋げれるように) ・自然、史跡、伝統芸能、芸術等の地域資源の発掘及び活用 ・観光・交流イベントの新設又は既存イベントの規模拡大 ・八女市のPR活動・コミュニティ拡大 ・新たに八女市の文化として根付かせる祭事、可能性の探索、挑戦
団体の構成員数	7人

燈 地域活性祭事

- (2020,3/14) プロジェクションマッピング,草雲雀,hou,柳 和暢 etc
(1 宴) 八女市で初プロジェクションマッピング 集客 1000人以上、手作りマスク配布
- (2020,10/11) タテタカコ,大飼 道雄,木村 仁,朝倉幸男,ピエロック etc
(2 宴) 音楽祭、投げ銭による活動支援 集客806人
- (2022,3/4-10) cobalt,UNA visualized,ピエロック etc
(3 宴) 屋内ライトアップ常設展示 集客1136人 読み聞かせ企画《熾火-okibi-》初開催


燈 FACEBOOK :



 YouTube ^{燈-TOMOSHIBI-第1宴PV}
<https://youtu.be/q8Qtkl98uG4>
^{燈-TOMOSHIBI-第3宴PV}
<https://youtu.be/JY3maJkFppk>

御協賛・サポーター募集中！



QRコード

一燈照偶 supported (協力・協賛)



クマノス



朝日屋



マチのコイン



がばいいえん



Sorciere



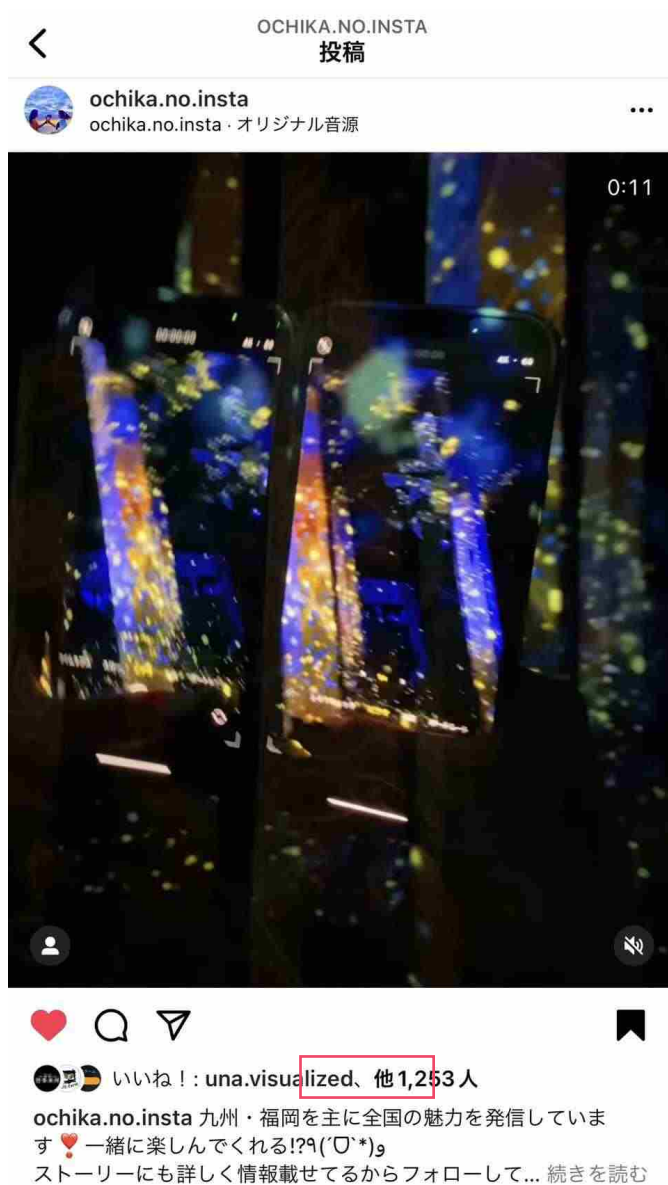
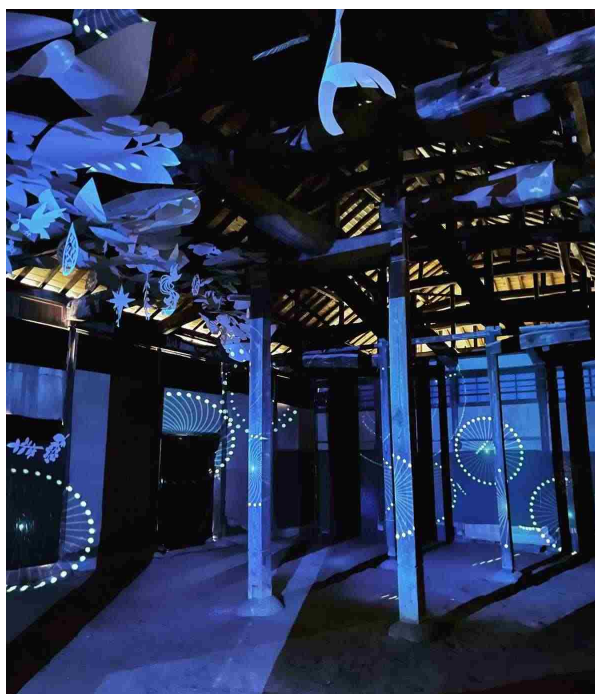
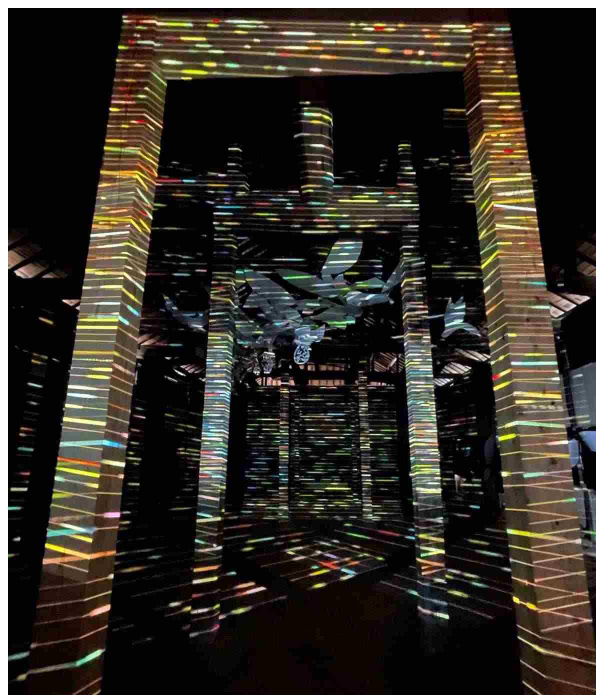
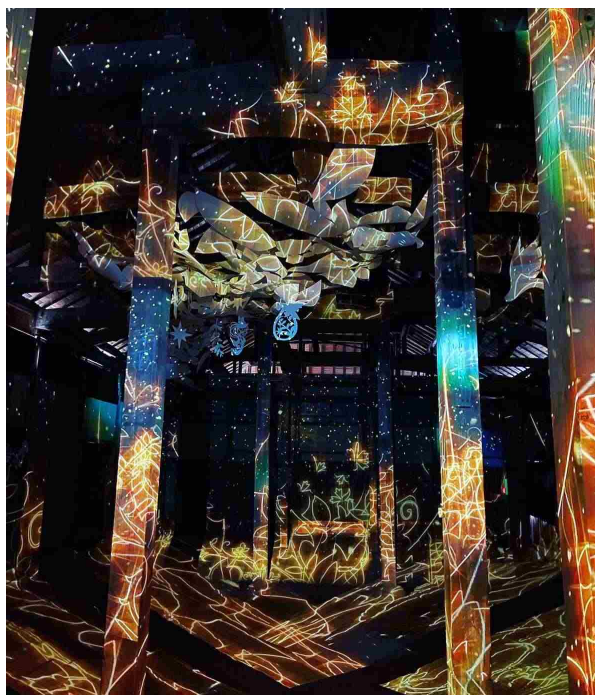
■後援■

八女市



《活動の成果》

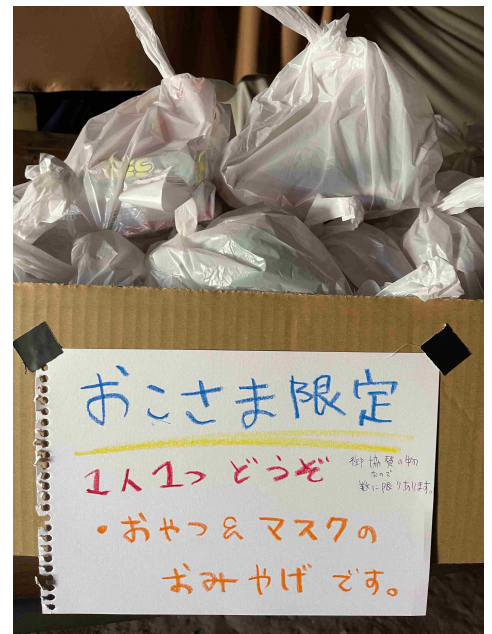
燈 -TOMOSHIBI- 屋内ライトアップ常設展示の様子



- 旧八女郡役所の会場を暗くして cobalt さんの絵本の世界観を映像で投影してインスタレーションの場とした。
- 会場には遠方、近隣から老若男女で御来場いただき写真撮影や、アート作品として自由に楽しんでいただきました。
- sns で有名なインフルエンサーが来場して情報拡散になり若い来場者数が増えました。動画再生回数は 75,000 回以上

《活動の成果》

燈 -TOMOSHIBI- 屋内ライトアップ常設展示の様子 2



●常設展示の入場料は全員無料にした代わりに《運営サポーター募金箱》を設置したところ ¥33,840 の投げ銭があった。

●今回、開催を決めるにあたって大きく 2 本の自分なりの課題を設けていました。

1 本目は「子供や学生が思い出行事が減ったのでチカラになりたい」

様々な企業や友人達に声かけをして協賛品をいただいたので子供達へ全て御土産として配布したところ沢山と喜んでくれた。

2 本目は今迄、燈 -TOMOSHIBI- を 2020 年の 3 月と 10 月と単日で企画開催を 2 回したなかで

「すごく興味あるけど、なんで今、開催なの？残念」みたいなニュアンスの投稿をみたり、他にも行きたくても我慢して来れない方から御連絡いただいたり、そういった方が友人を含め沢山いる事を忘れられなくて、自粛という形で感染対策の御協力の選択をした方々を無視する事はできなくて、それからずっと何かできないか考えていました。

単日企画だから来れないんだ、対策しても完全に密を回避できないから不安なんだ、だから今回は屋内にて広々と空間を使い、出店も並べずに朝から夜までライトアップ装飾を設けて自分の見たいタイミングで、密を避けて、息抜きやリラックス、外に出るキッカケと少しでもなれば、今まで来るのが難しかった方の不安をとりのぞける可能性が広がれば良いなと思つての単日じゃなくライトアップが観れる常設展示の企画にしました。

結果、観て感涙する人、感謝を伝えてくださる人、久々に歩出て来た方など直接与に声をかけていただいたので良かった。



3/5のみ燈 -TOMOSHIBI- の会場にゲストを招いた

●手作りの人形劇でサーカスを魅せるピエロク一座が会場の外で通りすがりの人や子供達を楽しませた。

この日は会場周辺で様々な催し行事が重なったので福島白壁の街並みが歩行者で賑わいました。

《活動の成果》

熾火 -okibi- 読み聞かせ企画の様子

出演者	・ 儒河 ・ MC TATAMI ・ the LACK ・ cobalt ・ 長岡大雅 ・ アフロ (MOROHA)
MC (司会)	・ 太田 江莉奈 ・ 徳永 紘一



3/6のみ会場を入場料制の貸切イベントに切り替えて 様々なゲストによる読み聞かせ企画【熾火 -okibi-】を開催

●各方面で活躍されている様々なプロフェッショナルを
ゲストに招いて読み聞かせをしていただいた。音楽 LIVE では
なくても、歓声があがなくても、優しくグッとくる雰囲気
の空間は築けるのかトライしてみました。

●狙っていたような集客はできなかったが演者も踏まえて初の試みだったので大いに良い手応えをつかめました。

●思い出になるよう会場にて手紙を書けるコーナーを設けた。手紙を読んで演者も子供も喜んでいた光景が、とても良かった。

《今回の狙い》

沢山の人に癒しや勇気、心のゆとり、思いやりなど何かを感じてもらえるような企画を目指した

- ① 2020年のコロナ禍の中で第1回目、二回目と単日で開催したが「興味あるのに何で今、開催？残念」「すぐに行きたいけど我慢します」など自粛という感染対策の御協力の気持ちを忘れられないし、無視できなくて何かできないか考えていました。単日じゃなく、密を回避できない不安をクリアすれば自分の都合の良いタイミングで息抜きや、外に出るキッカケ、癒しなど、少しでも力になれる可能性が広がるような空間にしたい。

→ 結果：●ご来場者の中で、この企画に興味あって久しぶりに外に出た。の声を実際に沢山いただいた！

- 密を避け、自由な時間で、ゆっくり鑑賞できて嬉しいと感激してた人もいた、何度も通う方もいた
- 感染対策はできる限りの事はしたが運営の狙いとしてガチガチに規制をかけず最低限にした。
来場者が自分たちの判断で、運営や他の来場者へ気づかいや思いやりを持って判断していただき狙いがあったから。監視として会場の入口に常駐したが実際に混雑も混乱もなく、譲り合いや気づかいの判断を皆が協力しあっていた。
ご来場による感染の報告もトラブルも問題はありませんでした。

- ② 思い出作りの催しが減った子供達に思い出に残るよう貢献したい。そこを気付けてる大人もいるって姿を見せたい来場した子供達に何かお土産できるよう御協賛、お菓子の寄付、物品、お花、遊具など募ります。

→ 結果：●企業様や友人などが子供用マスク、お菓子、自由帳、クレヨン、ジュース、協賛金など役立ててくださいと会場に持ってきて協力していただけた。

- 会場には遠方、近隣から老若男女で御来場いただき写真撮影や、アート作品として自由に楽しんでいただきました。
- 事前に学校の先生が下見に訪れ、後日に校外学習見学の一環で小学生が沢山と来場してくれた
- 食と学習支援のボランティアグループ「チャイルドサポートネットワーク」の子供達も引率されて来場してくれた
- 孫とおばあちゃんが手を繋いで見に来たり、「おばあちゃんと綺麗なものみれて良かった」など言っていて嬉しかった

課題

運営を強化していく為にも入場料をいただけるように工夫をしていく。
時期によって感染対策の緩みがあり、他の地域や団体に対策の差があるのは問題がある

今後

持続して開催できるようにユーモアとサプライズを意識して独自性の催し企画として成長し、集客を求める施設や他の活動をサポートできるように繋がりを築いて精進する。

開催に向けて御協力くださった皆様ありがとうございます。

次回も頑張りますので宜しく御願い致します



Light Up Show 実行委員会

代表 江崎 健

幸せねこプロジェクト

おちゃねこ八女



1.団体について

○設立目的

八女市を中心に保護猫・地域猫活動を行うことで、地域と人と動物（猫）が仲良く上手に暮らせる社会作りを目的とする。

○団体構成員数 10名



1.団体について

○これまでの活動実績

・TNR活動

野良猫の避妊去勢手術

・保護猫の里親探し

定期的な譲渡会の開催

SNSを活用した情報発信

・チャリティーグッズの販売

おちゃねこ八女オリジナルTシャツ・お茶の販売



2.活動内容

○活動スケジュール

日程	活動内容	活動場所
4月～3月	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	池田モータース
4月～3月	TNR活動	八女市内各所
4月1日・4月16日・ 6月2日・7月29日	インターネット譲渡会	ジモティー・アメブロ
10月10日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	土橋市場内スタジオ
11月23日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	開運寺
3月5日・3月6日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	堺屋(マルシェ)

※毎日 シェルターにおける保護猫の飼育・健康管理

2.活動内容

○インターネットによる情報発信

各種SNSを利用して、おちゃねこ八女の活動、里親募集中の猫の情報などを日々発信しています。

おちゃねこ八女



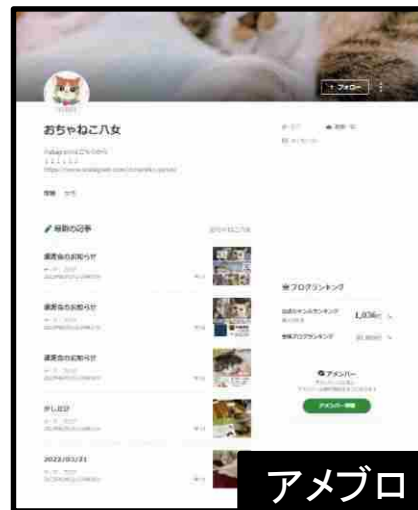
★アメブロ「おちゃねこ八女」

<https://ameblo.jp/ochaneko-yame/>

★Instagram「@ochaneko.yame」

★YouTube「おちゃねこ八女」

<https://www.youtube.com/channel/UCSMMRZCItA5ozMXM5-YuPRQ>



2.活動内容

○譲渡会

池田モータース(八女市室岡282-6)
にて毎月開催
本年度は16回

- ①譲渡会告知チラシ作成・張り出し
- ②譲渡会場にて来場者の対応
 - ・譲渡条件の説明
 - ・飼育方法の指導
- ③チャリティーグッズ販売



参加者:各回 約30組、従事者:各回 約15名

2.活動内容

○譲渡会

イベントに参加しての譲渡会開催
(土橋市場・堺屋・開運寺)

本年度は5回

- ①譲渡会告知チラシ作成・張り出し
- ②譲渡会場にて来場者の対応
 - ・譲渡条件の説明
 - ・飼育方法の指導
- ③チャリティーグッズ販売

参加者:各回 約30組、従事者:各回 約10名



写真は10/31
堺屋(旧木下邸)で
行われた
ハロウィンマルシェでの
譲渡会の様子



2.活動内容

○インターネット譲渡会(ジモティー)

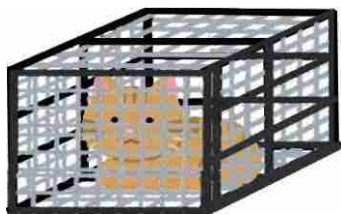
ジモティーを利用して里親募集
ブログにて告知



2.活動内容

TNR活動とは「トラップ・ニューター・リターン」の頭文字をとったもので、「捕獲して手術をしたのち、元居た場所に戻る」活動のことを言います。

Trap → Neuter → Return



**罠を使い
捕獲**



**避妊去勢
手術**



**元の居場所
へ戻す**

2.活動内容 TNR活動



捕獲器をしかけます
猫の活動時間の夜中
に捕獲することもあり
ます



体調の変化や、脱走
防止に気を付けなが
ら、お世話します



どうぶつ基金病院
に搬入します

医師による手術の
様子

(C) 公益財団法人どうぶつ基金



手術後経過が良好かを
確認して、翌日には元の
場所にリターンします
要観察の子は経過を見て
からリターンします

3.活動の成果

・譲渡会の開催

外で保護した猫たちをおうちの猫として飼っていただくため、八女市内において25回の譲渡会を行い、152頭もの猫たちが新しい家族と出会うことができました。

・TNR活動

地域の野良猫を捕獲し、避妊去勢手術を受けさせたうえで元いた場所に返す、というTNR (Trap Neuter Return)を中心に活動を行ってきました。

公益財団法人どうぶつ基金による「TNR地域集中プロジェクト」に八女市行政枠として申請していただき812頭の不妊去勢手術を行うことができました。

このことにより、外で生きる中で命を落としてしまう猫たちを減らすことができたのはもちろん、地域のもめごとの原因となってしまった方、あるいは多頭飼育崩壊に陥って助けを求めておられた方、そういった市民の皆さんの生活・環境、また心身の健康面での改善にお役に立てたのではないかと思います。

4.活動の課題

・TNRについて

TNRという活動に関して、地域の方に周知がなされていない。もっと市民の皆さんにこの活動を知っていただきたい。

八女市は活動範囲が広く、時間・経費（ガソリン代等）の負担が大きい。

・保護活動について

野良猫の保護（主に子ネコ）の依頼が多く、それに伴う保護施設、えさ代、医療費の団体負担が大きすぎる。

平日に保護猫のお世話が出来るボランティアが少ない。

5. 今後に向けて

- ・譲渡会の開催・TNRについて、より市民の皆さんに知っていただくために、チラシの作成を行い、市内のスーパーや公共施設等への掲示依頼を行う。
- ・正しい猫の飼い方や、避妊去勢手術の重要性を知っていただくために、学校やお祭り行事などでの動物愛護啓発活動を行う。
- ・学生ボランティアの受け入れ等も行い、活動できるボランティアの数を増やす。
- ・NPO法人の設立を行い、クラウドファンディング等を利用した資金の調達を目指す。それにより継続的な活動を行える環境を整える。

ミニバラハ女津姫を広めるプロジェクト

～ ミニバラハ女津媛の会 ～





ミニバラ八女津媛の会について

● 設立目的

八女の地名の起こりは、日本書紀に出て来る『八女津媛』。その名前がついた世界登録された日本オリジナルの花『八女津姫(ヤメツヒメ)』をより多くの方に知ってもらうため、八女に咲かせて町づくりをしたいと会を結成した。

● 団体構成員数 11名 及び

八女農業高校システム園芸科草花専攻の学生・先生

● 設立年月日 令和3年4月1日



わたしたちの活動のきっかけ

2018年 NHK「趣味の園芸」でミニバラ「八女津姫」が紹介され、「ヤメツヒメ」と名付けられた花があることを知る。

1961年作出（伊丹バラ園）作出者辺春佳四郎
八女市のために生み出された花なのでは…？

ぜひこのバラを八女市内に広めたいと考え、友人にプレゼントしたり、旧八女郡役所（2020年4月）・八女津媛神社（2020年5月）に植栽。年間を通して手入れするようになった。



ミニバラ「八女津姫」プロフィール

作出国	日本
作出年	1961年【伊丹バラ園】
作出者	辺春佳四郎（へばるけいしろう）
ローマ字	YAMETSUHIME
系統	ミニチュア
花色	ピンク、ホワイト、ローズピンク
香径	微香
咲き方	四季咲き
成長形態	木立性
樹高	20cm
交配	TomThumbX実生（seedling）
別名	「レンゲローズ」

花言葉

特別の功績 見つめても優美



貝殻を重ねたような、小輪半八重咲き



令和3年度の植栽活動 1



旧大内邸【立花町】

4月4日 参加者 15名

苗 20ポット(白)

12月18日 参加者 4名

苗 14ポット(白)



八女津媛神社【矢部村】

4月17日

参加者 20名

苗 40ポット



「ときめき」観光案内所

4月19日

参加者 4名

苗 10ポット 61



令和3年度の植栽活動 2

10月22日 参加者6人 4か所に植栽



多世代交流館「共生の森」
苗 20ポット
(プランター5個)



八女伝統工芸館
苗 10ポット



横町町屋交流館
苗 10ポット
(プランター2個)



苗 5ポット
(プランター1個)
ほたと石橋の館【上陽町】



年間通しての手入れ

花柄摘み、水やり、肥料、土入れ、株の切り戻し、さし芽、草取り など

植栽場所には許可を頂き、花壇やプランターの責任者を決め、水やりをしてもらっています。



草取り作業
【旧大内邸】



寒さよけの為、藁をかぶせた
【八女津媛神社】



日当たりがいいのでよく咲きます
2020年植栽
【旧八女郡役所】（撮影5月）

会での
活動経過

7月18日	旧大内邸 草取り 6名
11月 5日	八女津媛神社 手入れと草取り 2名
通年実施	個人で花壇の手入れや草取り作業



毛利先生の講話

植栽ボランティアを募集しての花壇づくりでは、講師を招き「園芸についての講話」・「植栽のアドバイス」をしていただきました。



講師 花修景園芸家
毛利 晶子 氏
モットーは『安・楽・長』



4月4日 旧大内邸
(参加者17名)
内ボランティア 11名



4月17日 八女津媛神社
(参加者18名)
内ボランティア13名+地元の方 6名



八女農業高校との連携

八女農業高校 システム園芸科 草花専攻の学生さんが挿し芽をして繁殖に成功



繁殖されたミニバラ八女津姫
苗づくりについて語る先生



繁殖したつぼみ



冬、会に頂いた管理中の苗

活動経過

4月12日	苗を30ポット提供
10月20日	苗を30ポット提供
12月 9日	苗を150ポット頂く



ボランティア参加者募集ちらしの作成

【ねらい】

- ボランティアの募集
- ミニバラ「八女津姫」の紹介と
会の活動目的などの情報発信
- 講師を招いての園芸講話
- ミニバラ植栽の集いを開催、
苗をプレゼントし、市民により親しんでほしい。

【配布】

2000部 印刷





3つ折りパンフレットの作成

【内容】

- ミニバラ「八女津姫」のプロフィール
- 会の活動状況
- 今年度植栽場所および次年度の植栽場所
- 日本書紀に登場する八女津媛と八女（やめ）の名の由来
- 八女津媛神社の紹介 など…

【部数】 3000部

【設置場所】

八女市役所、八女市内支所、おりなす八女、八女郡役所、横町町家交流館、伝統工芸館、観光案内所、図書館、共生の森、旧大内邸、ほたと石橋の館、みるく畑くりやま、杣のさと、Villa ARTIS、朝日屋酒店 他





ホームページの作成



アクセスQR

<https://minibara-yametsuhime.jimdofree.com/>



活動の成果①

- パンフレットやホームページなどの広報活動を通じて問い合わせがあった。
綺麗なバラの写真が好感を得る。
- 八女農業高校で苗の繁殖に協力していただくこととなり、繁殖に成功。
- 毎月第一金曜日の定例会
コロナの影響でオンラインミーティングを行ったり、状況によっては作業に変えたりした。
- 八女津媛神社のミニバラ
矢部村の方たちが当番で月1回の草取りをされており、ミニバラの花壇まわりもしていただいている。



活動の成果②

- ミニバラハ女津姫は花付きが多いのが特徴であるため、プランターを提供している施設（共生の森、横町町家交流館）などを訪れた方にも「可愛い!」「きれい!」と喜んでいただいている。（関係者に聞き取り）
- 植栽ボランティアの参加者の中には、草取りや花の手入れ等を心配してくださる方もおられ、一回限りの参加ではなく、継続して参加しようという意識を持ってくださっていることが分かった。
また、ハ女津媛神社まで見に行かれた方もおり、ミニバラハ女津姫に関心を持っていただいていることが分かった。



活動の課題

- 日頃の手入れと管理
植栽場所の責任者に、花の状況報告をしてもらう
- ボランティアの方々とのつながりを密にする
- ミニバラハ女津姫の作出者である辺春佳四郎氏についての研究を続ける



今後において

- さらにミニバラハ女津姫の植栽場所の範囲を広げ
より多くの市民に浸透させたい。
花情報のプレートを充実させる
- ミニバラの育て方と繁殖の講習会を行う



令和3年度 市民との協働によるまちづくり提案事業

活動事例報告

八女の土で器を作って楽しもう

～資源を活かして原料から作ってみる会～

1.団体について

○設立目的

モノのあり方を再構築し原材料から完成までの流れを実体験することにより、これからの社会でのモノづくりについてまたその作ったモノを活かす方法について考察し提案していくことを目的とします。

○団体構成員 5 名

○設立年月日 2020 年 04 月 01 日

1.団体について

○これまでの活動実績

国交省に連絡して許可をもらい、北部九州豪雨で上流から流れてきた風倒木を薪にして、焼物の燃料として活かす。その燃料で器を焼く。



2.活動内容

2021.07.31 土堀り 粘土層がある場所に行って土を掘る。

2021.08.01 土作り 掘った粘土から大きな石などを取り除き、
足で踏んだり練ったりして成形しやすい粘土にする。

2021.10.16 窯づくり 楽焼用の窯を作る。

2021.10.17.18.19 1日目に作った器に釉薬をかけて焼く。

2022.02.05.06 お茶会 焼きあがった自作に器を使ってお茶会
をする。

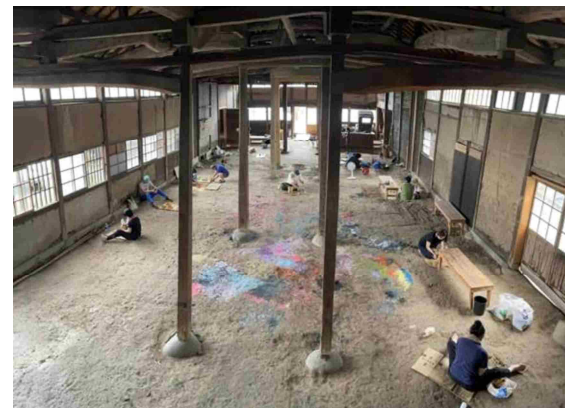
2.活動内容

土堀り土づくり器づくり

参加者 7 名

土間の会場に座り込んでお茶碗その他好きな作品を制作。

講師の一人が蹴轆轤を持参くださったので、轆轤体験もできました。



2.活動内容

窯づくり 楽焼き

参加者 7 名

参加者のお子様も一緒になって煉瓦を積み上げました。

お子様は特に積み木の延長で大きな作品を作る楽しさを感じてもらえました。



3.活動内容

お茶会

「古代茶会」と名付けて、旧八女郡役所の土間で藁で座布団を作って茶臼で碾茶をひいてお客様をもてなす体験をしました。



4.活動の成果

- ・器づくりについて

全員の参加者が初心者でしたが、大人も子供も一緒に泥んこになって進めていく作業をととても楽しんで頂き、開催時期が長期に渡っての企画でしたが、全員全て参加して頂きました。1年を通しての作業で八女の資源とその使い方について学んで頂けたかなと思っています。

- ・茶会について

1年を通しての作業がじわじわと噂になっていたらしく、八女市関係の方も参加して下さいました。

全て八女の資源を使ってしかも文化財との関連も感じられ、有意義な催しなので是非ウチでもやってほしいとの意見も頂きました。

5.活動の課題

八女の資源のみで器を完成するところまでは出来たが、日常使いにする器までにはできませんでした。

次年度は土づくりの準備をさらに丁寧に行い、日常使いが出来る作品を目標とします。

6.今後に向けて

古代から営まれてきた生活の延長線上にすることを八女の文化財と共に学んでいけるようにしたいと思います。

それによりより深く八女の魅力を発信することができると考えます。

舞台から八女の徐福文化を発信する

—徐福八女長寿茶山踊りと商品開発—



八女徐福会

1. 八女徐福会について

(1) 活動目的

八女市山内の童男山古墳に残る徐福伝説「童男山ふすべ」を通して、八女市に残る徐福伝説を発展させるため、徐福の研究と顕彰活動を行っている。

さらに、日本・中国・韓国等の徐福会、研究会、研究者との国際交流活動を進める一方、童男山・犬尾城址保存会と協力して「童男山ふすべ」の保存継承を進めるため、市内外や国際交流などの対外活動も行っている。

- ・平成25年に設立
- ・団体会員約35名

1. 八女徐福会について

(2) これまでの活動

- ・ 日本徐福協会を通じて日本全国の徐福伝承地との交流
特に、九州地区(福岡、佐賀、宮崎、鹿児島)の徐福団体とは巡回セミナーの共同開催などで事業を進めている。
- ・ 中国、韓国の徐福団体との交流
- ・ 平成29年～平成31年
 - ・ 八女の徐福文化を国内外に発信
 - ・ 世界無形文化遺産登録に向けて中韓日の交流

2. 活動内容

令和3年度からは、引き続き中韓日の交流事業を進める一方、徐福文化を広く一般に普及するため舞台からのアピールを行い、さらに徐福資源を生かして地元産品とコラボした商品開発を行い、地域経済の活性化を図った。

- ①徐福文化交流事業
- ②徐福普及活動
- ③徐福商品開発事業

2. 活動内容（徐福文化交流事業）

令和3年	
10月5日	韓国咸陽EXOPO中韓日徐福文化シンポジウム(ライブ中継・リモート参加)
10月31日	中国連雲港市徐福中韓日国際セミナー(ライブ中継)



韓国咸陽EXOPO中韓日徐福文化シンポジウムのレジメ

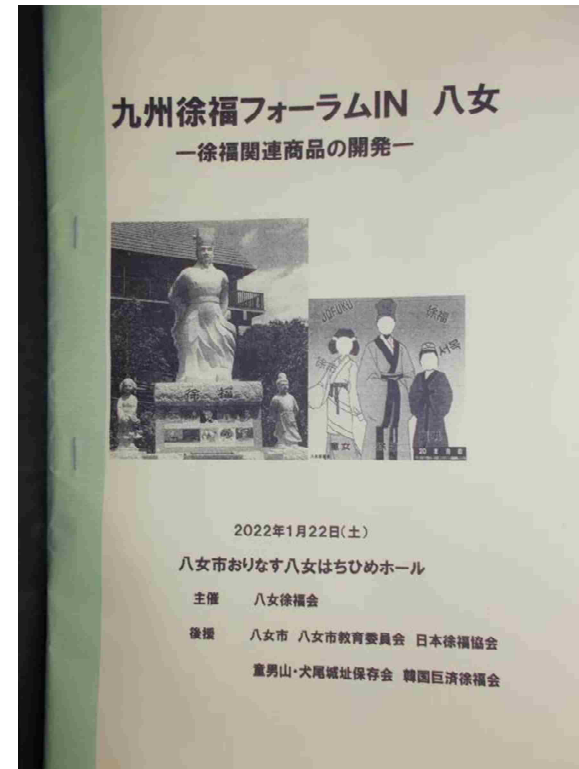
2. 活動内容（徐福文化交流事業）

令和4年	
1月22日	九州徐福文化フォーラム商品開発セミナーIN八女(おりなす八女) (徐福商品開発・ライブ中継・リモート参加)
3月6日	九州徐福文化フォーラムIN佐賀(延期)

2. 活動内容（徐福文化交流事業）



九州徐福文化フォーラムIN八女 開催の様子



九州徐福文化フォーラムIN八女 資料



2. 活動内容（徐福文化交流事業）



九州徐福文化フォーラムIN八女セミナー基調講演、各地からの報告

2. 活動内容（徐福普及活動）

- コロナ感染拡大防止のためイベントの中止、施設等訪問禁止のため活動が限られた。
- 令和3年4月～令和4年5月
（社法人）日本中国友好協会発行の日中友好「日本と中国」に全国の徐福伝承地を紹介
→ 8月号に「八女の徐福」として紹介記事を掲載
- 令和4年
1月20日 童男山ふすべ（関係者のみで開催）
1月22日 九州徐福文化フォーラムで徐福劇、茶山踊りを披露。



日中友好「日本と中国」新聞



八女と筑紫野の徐福伝説記事 91

2. 活動内容（徐福普及活動）



童男山ふすべ（関係者のみで開催）



茶山踊りを披露

2. 活動内容（徐福商品開発事業）

- ・ 令和3年

9月 徐福タオル・八女徐福長寿茶、シール

10月 八女徐福長寿茶販売開始

- ・ 令和4年

1月 徐福顔出しパネル



徐福タオル



八女徐福長寿茶



徐福顔出しパネル

3. 事業の成果

当該年度の事業についてはコロナの感染拡大により大きく制約を受けたが、ほぼ達成することができた。コロナ下でも日本、中国、韓国の徐福団体との交流を深めている。特に、九州地区(福岡、佐賀、宮崎、鹿児島)の徐福団体とは巡回セミナーの共同開催などで事業を進めている。

しかし、世界的なコロナの感染拡大により、中国、韓国との渡航が制限され、各国で開催のシンポジウムやセミナーは中止や延期になった。開催できた行事も渡航制限のため規模が縮小されたり、リモートでの開催になった。日本においても国内の移動が制限され同様な結果となった。また、八女徐福座の公演も活動が限定的になったが、日頃より練習を重ねている。

徐福文化の世界無形文化遺産登録を目指しては、中・韓・日の3カ国の徐福団体とオンラインやメールを通じて交流を継続し協力して活動を行っている。

このような中で、川崎小学校児童、イベント参加者、童男山ふすべ、八女オルレコース遊歩参加者にパンフレットや徐福タオルの配布を行い、八女の徐福文化の発信を行った。

4. 事業の課題

- 川崎小学校児童の減少によって、昭和23年から続く「童男山ふすべ」の継続問題
- 徐福会会員の高齢化
- 継続的な事業を行うための資金づくり
- 中国・韓国との交流方法
- 徐福文化の普及活動

5. 今後に向けて

- 徐福伝承の残る童男山古墳やふれあいの家南筑後跡地、徐福像周辺の整備をアピールする。
- 八女の徐福文化を様々な方策を用いて、広く国内や韓国、中国に広報する。
- 毎年1月20日に行われる「童男山ふすべ」行事の継承を、地域住民や学校と協力して継続して進めていく。
- 八女徐福会の活動を継続して発展させるために、八女徐福会のNPO法人化を目指す。
- 徐福関連商品として徐福長寿茶、長寿茶飴、キーホルダー、ほか、各種薬草茶等の開発。
- 八女オルレコースの始終基点としてオルレ関係団体と協力してゆく。

茶のくに
八女・奥八女

CHANOKUNI YAME OKUYAME